

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース／米ドルコース／円コース」は、このたび、第47期～第52期の決算を行いました。本ファンドは、日本を除くアジアの米ドル建てハイ・イールド債券に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指しつつ、アジア通貨コースと米ドルコースでは通貨への投資効果を追求した運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アジア通貨コース

第52期末(2016年4月25日)	第47期～第52期
基準価額	6,342円 騰落率 -3.41%
純資産総額	13,775百万円 分配金合計 1,320円

米ドルコース

第52期末(2016年4月25日)	第47期～第52期
基準価額	7,494円 騰落率 -5.85%
純資産総額	71,277百万円 分配金合計 1,500円

円コース

第52期末(2016年4月25日)	第47期～第52期
基準価額	7,462円 騰落率 2.04%
純資産総額	3,569百万円 分配金合計 480円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンドラインナップ」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド

アジア通貨コース

米ドルコース

円コース

追加型投信／海外／債券／アジア通貨コース：特殊型(通貨運用型)

第47期(決算日2015年11月25日)

第48期(決算日2015年12月25日)

第49期(決算日2016年1月25日)

第50期(決算日2016年2月25日)

第51期(決算日2016年3月25日)

第52期(決算日2016年4月25日)

作成対象期間：2015年10月27日～2016年4月25日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

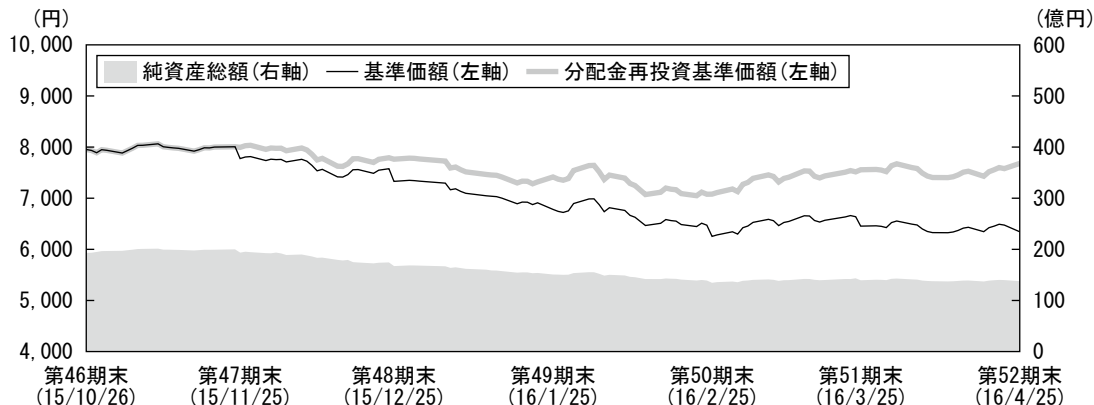
お問合せ先：03-6437-6000(代表)

受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2015年10月27日～2016年4月25日）



第47期首：7,953円

第52期末：6,342円

（当作成期中にお支払いした分配金：1,320円）

騰落率：－3.41%（分配金再投資ベース）

（注1）本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません（以下同じ）。

（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の7,953円から1,611円下落し、期末には6,342円となりました。

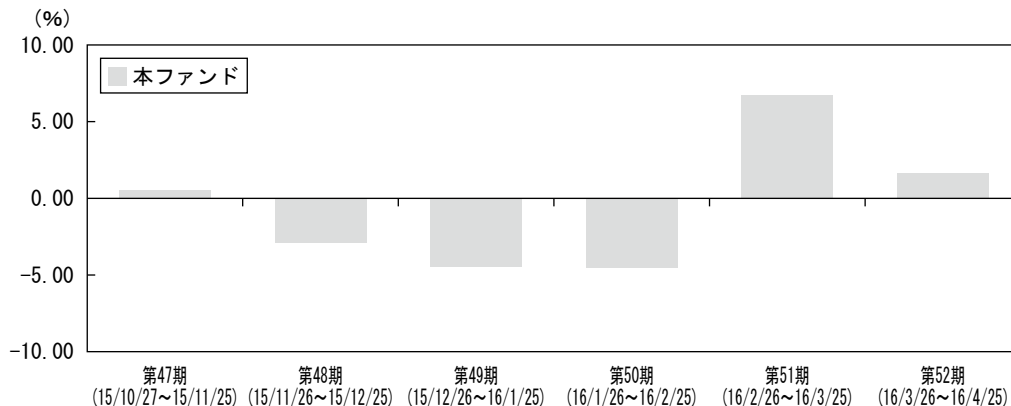
上昇要因

保有しているハイ・イールド債券からのクーポン収入やスプレッド（米国債に対する上乗せ金利）の縮小、米国債の利回り低下（価格は上昇）などが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国の利上げ観測の高まりなどを受けた新興国からの資本流出懸念や中国の景気減速懸念、円高ドル安の流れが概ね継続したことなどを背景にインド・ルピー、韓国ウォン、インドネシア・ルピアが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。また、分配金をお支払いしたことも基準価額の下落要因となりました。

■ 当期の基準価額の騰落率



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、-3.41%となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト アジア通貨クラス* ¹	-2.05%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド* ²	-7.89%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- * 1 ケイマン籍外国投資信託（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラストーゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト クラスIO（アジア通貨バスケット）
- * 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシーゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド

1 万口当たりの費用明細

項目	第47期～第52期		項目の概要
	2015年10月27日～2016年4月25日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	66円 (33) (33) (1)	0.929% (0.456) (0.456) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	1 (0) (0) (0)	0.009 (0.000) (0.005) (0.003)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	67	0.938	

期中の平均基準価額は7,127円です。

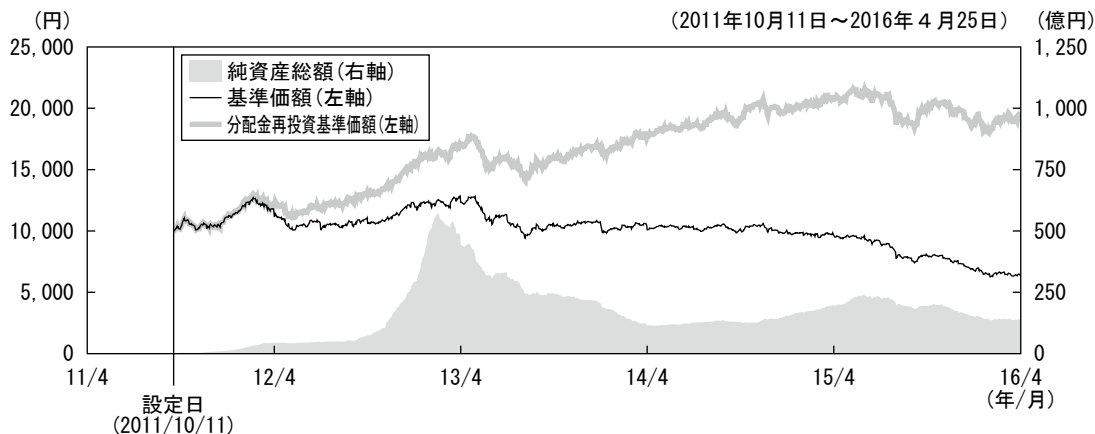
期中の平均基準価額は7,127円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2011年10月11日）の基準価額を起点として指数化しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

	2011/10/11 設定日	2012/4/25 決算日	2013/4/25 決算日	2014/4/25 決算日	2015/4/27 決算日	2016/4/25 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	11,179	12,330	10,097	9,515	6,342
期間分配金合計（税引前）（円）	—	980	2,730	2,470	2,230	2,640
分配金再投資基準価額騰落率	—	21.63%	40.44%	3.58%	17.68%	－5.76%
純資産総額（百万円）	118	4,279	44,293	11,504	19,475	13,775

■ 投資環境について

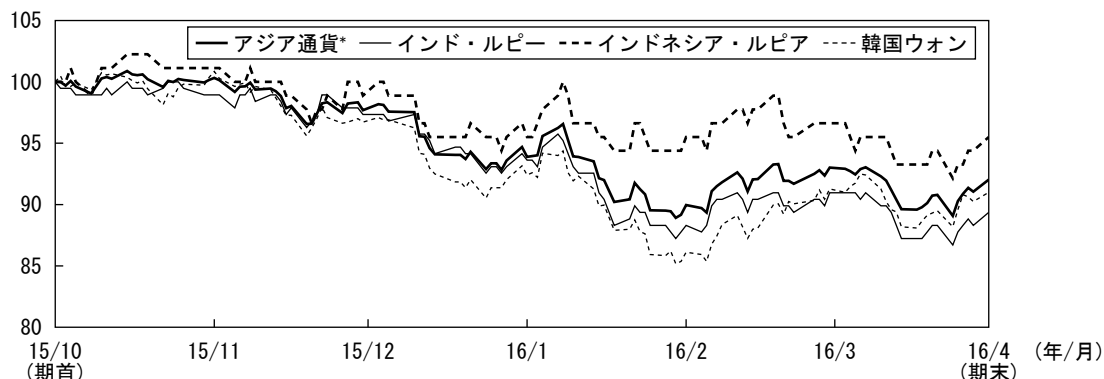
<アジア・ハイ・イールド債券市場>

期初より、原油価格の下落やトルコによるロシア空軍機撃墜などを受けた地政学リスクの高まり、市場を失望させる内容となったECB（欧州中央銀行）の追加金融緩和などを背景にスプレッドは拡大しました。年明け以降も原油価格の下落幅拡大や中国経済の先行きに対する懸念などを背景に、スプレッドは拡大傾向が継続しました。しかし、2月中旬以降は、原油価格の反発や中国の預金準備率引き下げ、米国の利上げペースが緩やかになるとの期待などを背景に投資家のリスク選好度が高まり、スプレッドが縮小に転じました。期を通じて見ると、スプレッドは縮小し、期の中盤に投資家のリスク回避姿勢が強まった局面で米国債の需要が高まったことなどから、米国債利回りも低下したため、アジア・ハイ・イールド債券市場は前期末から上昇しました。（米ドルベース）

<為替市場>

アジア通貨は、インド・ルピー、韓国ウォン、インドネシア・ルピアのいずれも対円で下落しました。

○為替レート（対円）の推移



出所：一般社団法人投資信託協会

*インド・ルピー、インドネシア・ルピア、韓国ウォンを均等配分しています。

（注）期首を100として指数化したものです。

<短期金融市場>

当期において、1ヵ月物米ドルLIBOR（ロンドン銀行間取引金利）は前期末の0.19%程度から0.44%程度まで上昇して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて ＜本ファンド＞

本ファンドはゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト アジア通貨クラスおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト アジア通貨クラスを高位に組入れることにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

＜ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト アジア通貨クラス＞

主に日本を除くアジアの企業またはアジア各国の成長により収益が期待される企業により発行された米ドル建て投資適格格付未満に格付けされた債券に投資することにより、収入（インカム）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなる長期的なトータル・リターンを獲得することを目的として、運用を行いました。また、米ドル建て資産に対して原則として対アジア通貨で為替取引を活用することにより、アジア通貨への投資効果を追求しました。本ファンドにおいて、アジア通貨とは、アジア地域の中で、通貨の流動性、金利水準、経済状況等を勘案して、委託会社が選択したインド・ルピー、インドネシア・ルピアおよび韓国ウォンのことをいい、原則として3通貨に均等配分します。

当期の組入れファンドのパフォーマンスは、米ドルベースで上昇しました。個別銘柄では、インドネシアのタイヤメーカー、ガジャ・トゥンガルなどが上昇した一方、インドの鉱山会社ベダント・リソーシズなどが下落しました。

＜ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド＞

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第47期から第52期は各220円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2015年10月27日 ～2015年11月25日	2015年11月26日 ～2015年12月25日	2015年12月26日 ～2016年1月25日	2016年1月26日 ～2016年2月25日	2016年2月26日 ～2016年3月25日	2016年3月26日 ～2016年4月25日
当期分配金	220	220	220	220	220	220
（対基準価額比率）	2.752	2.915	3.142	3.399	3.296	3.353
当期の収益	214	220	212	194	187	175
当期の収益以外	5	—	7	25	32	44
翌期繰越分配対象額	2,030	2,037	2,030	2,005	1,978	1,935

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

＜本ファンド＞

今後も引き続きゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラストアジア通貨クラスの組入れを高位に保ち、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

＜ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト アジア通貨クラス＞

アジア・ハイ・イールド市場における企業ファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）は総じて良好との見方に変わりはないものの、アジア地域の経済成長が弱いことや、中国経済の動向に対する懸念などもあり、多くの国で中央銀行は緩和措置を採っているという状況です。しかし、デフォルト（債務不履行）率については、短期的には低位にとどまると見ています。同市場は、発行体企業の財務基盤が強固であることや、当面は償還を迎える銘柄が限られていることなどがデフォルト率上昇の抑制要因になると考えています。引き続き、安定的なキャッシュ・フローを生み出す公益などの景気非循環銘柄を強気に見ている一方、不動産銘柄を弱気に見ています。また、米ドル建て資産に対して原則として対アジア通貨で為替取引を活用することにより、アジア通貨への投資効果を追求します。原則としてアジア通貨の3通貨に均等配分します。

＜ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド＞

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

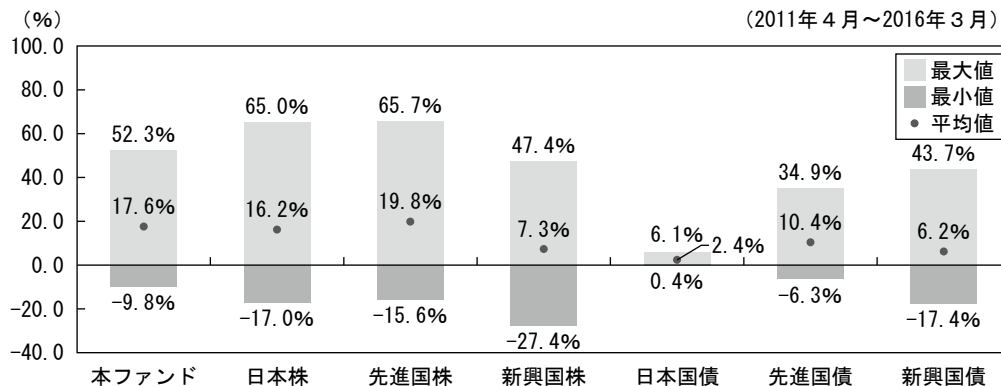
（上記見通しは2016年4月25日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／アジア通貨コース：特殊型（通貨運用型）
信託期間	2021年10月25日まで
運用方針	主として、日本を除くアジアの投資適格格付未滿に格付けされた米ドル建て高利回り債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	<アジア通貨コース> 以下①③の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <米ドルコース／円コース> 以下②③の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラスト ①ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト クラスIO（アジア通貨バスケット） ②ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト クラスIO ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ③ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	主に日本を除くアジアの企業またはアジア各国の成長により収益が期待される企業により発行された米ドル建て投資適格格付未滿に格付けされた債券。組入資産につき米ドルとアジア通貨（インド・ルピー、インドネシア・ルピア、韓国ウォン）との為替取引も活用
指定投資信託証券②	主に日本を除くアジアの企業またはアジア各国の成長により収益が期待される企業により発行された米ドル建て投資適格格付未滿に格付けされた債券
指定投資信託証券③	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、アジア通貨コース・米ドルコースでは、原則として対円での為替ヘッジは行わず、円コースでは、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月25日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2011年4月から2016年3月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの1年騰落率は、各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定日（2011年10月11日）から1年後の2012年10月以降のデータを表示しています。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

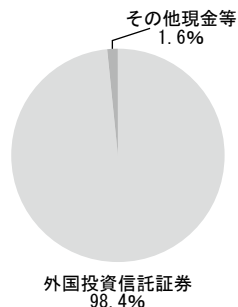
■ 本ファンドの組入資産の内容（2016年4月25日現在）

○組入れファンド

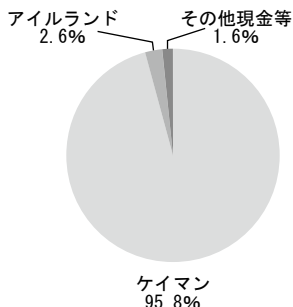
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ ボンド・FX・サブ・トラスト アジア通貨クラス	95.8%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.6%

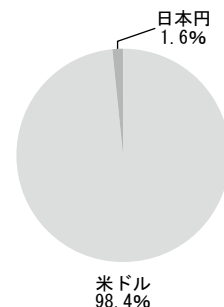
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

項目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
	2015年11月25日	2015年12月25日	2016年1月25日	2016年2月25日	2016年3月25日	2016年4月25日
純資産総額	19,353,420,920円	16,719,173,197円	15,073,007,872円	13,450,398,012円	13,944,860,817円	13,775,566,041円
受益権総口数	24,893,822,267口	22,815,495,712口	22,229,396,934口	21,509,020,933口	21,607,300,222口	21,719,680,773口
1万口当たり基準価額	7,774円	7,328円	6,781円	6,253円	6,454円	6,342円

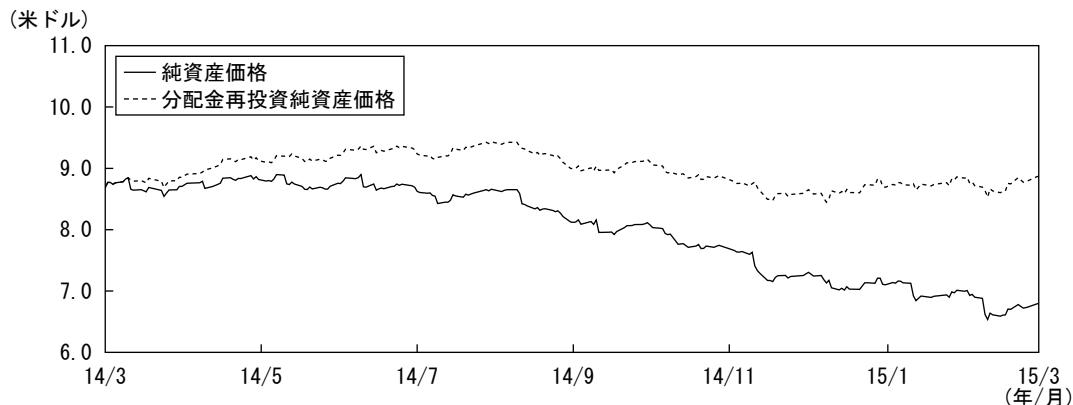
（注）当作成期首元本額は24,273,128,914円、当作成期間（第47期～第52期）中において、追加設定元本額は4,384,612,962円、同解約元本額は6,938,061,103円です。

■ 組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト アジア通貨クラス> (2015年3月31日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回(毎年3月末)です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年3月31日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について(2014年4月1日～2015年3月31日)



(注1) 分配金再投資純資産価格は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資純資産価格は、2014年3月31日の純資産価格を起点として指数化しています。

○費用明細(単位: 米ドル)

運用費用	
支払利息	19,548
投資顧問報酬	2,551,350
管理事務代行報酬	21,729
監査報酬	63,187
受託報酬	41,114
保管費用	142,765
名義書換事務代行報酬	19,520
投資主サービス報酬	225,723
弁護士報酬	12,754
雑費	13,658
運用費用合計	<u>3,111,348</u>

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年4月1日から2015年3月31日までのものです。

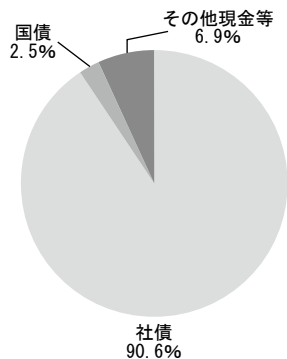
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○債券特性値

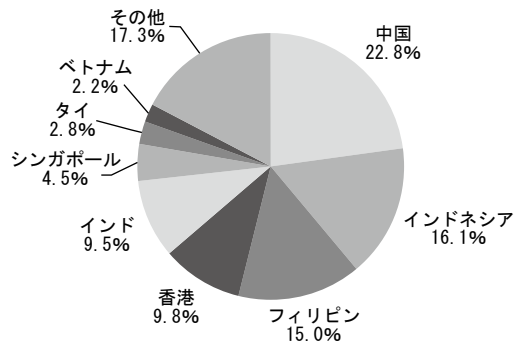
最終利回り : 7.24%

デュレーション : 3.59年

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 112銘柄)

	銘柄	種別	国	比率
1	SAN MIGUEL	社債	フィリピン	3.5%
2	STUDIO CITY FINANCE	社債	香港	2.9%
3	SMC GLOBAL POWER HLDGS	社債	フィリピン	2.9%
4	ROYAL CAPITAL	社債	フィリピン	2.8%
5	CITIC	社債	中国	2.6%
6	TBG GLOBAL PTE	社債	インドネシア	2.5%
7	ENERGY DEVELOPMENT	社債	フィリピン	2.4%
8	SOHO CHINA	社債	中国	2.3%
9	GREENKO DUTCH	社債	インド	2.3%
10	PETRON	社債	フィリピン	2.1%

*上記以外にアジア通貨買い米ドル売りの為替取引を行っており、それぞれの比率はインド・ルピーが33.0%、インドネシア・ルピアが33.2%、韓国ウォンが32.9%です。

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

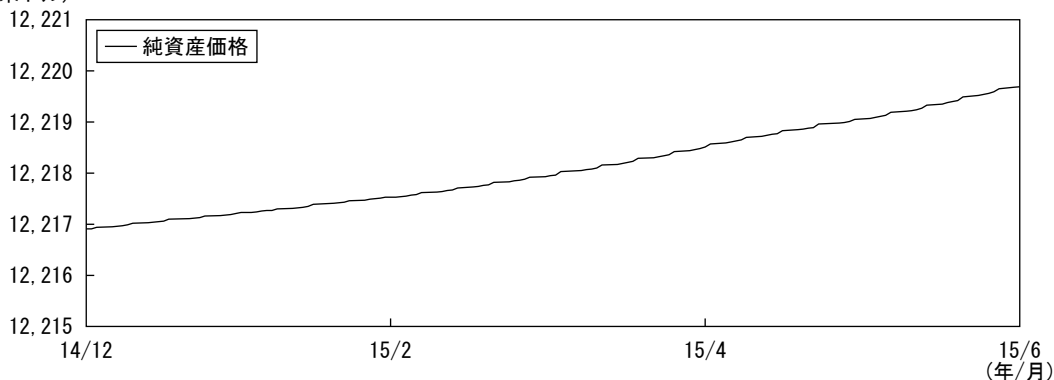
*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2015年6月30日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回（毎年12月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年6月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について（2015年1月1日～2015年6月30日）

(米ドル)



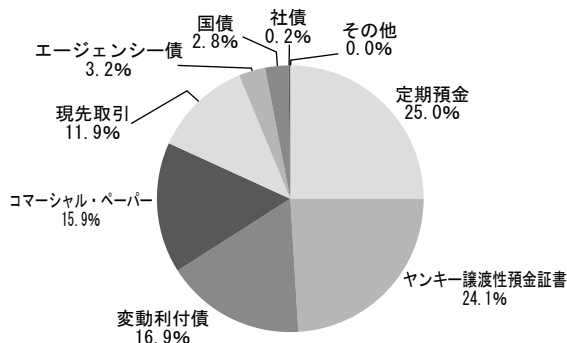
○費用明細（単位：米ドル）

費用	
支払利息	516
投資顧問報酬	26,017,394
管理会社報酬	1,478,778
管理事務代行報酬および保管費用	1,525,974
販売報酬	3,361,630
名義書換事務代行報酬	135,894
監査報酬	7,586
取締役報酬	7,254
弁護士報酬	24,490
保険費用	100,821
印刷費用	10,933
その他費用	157,203
費用合計	32,828,473
投資顧問／販売報酬および諸費用の調整額	(5,836,802)
運用費用合計	26,991,671

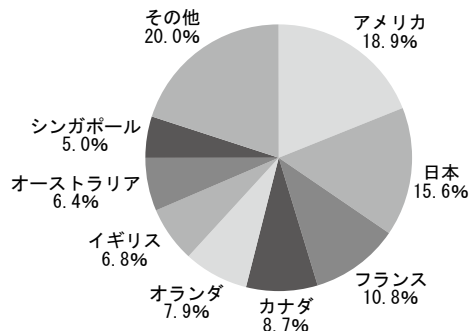
(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2015年1月1日から2015年6月30日までのものです。

(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

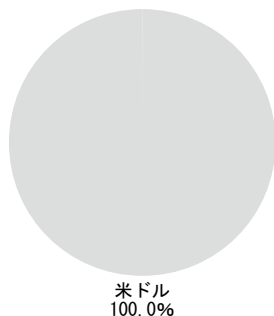
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：108銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	ING Bank NV Repo(e)	現先取引	米ドル	4.4%
2	Societe Generale Plc Repo(e)	現先取引	米ドル	3.9%
3	The Norinchukin Bank	ヤンキー譲渡性預金証書	米ドル	3.4%
4	China Construction Bank Corp	定期預金	米ドル	3.4%
5	Nordea Bank AB	定期預金	米ドル	3.4%
6	Australia and New Zealand Banking Group Ltd	定期預金	米ドル	2.7%
7	Credit Industriel	定期預金	米ドル	2.5%
8	Royal Bank of Canada	定期預金	米ドル	2.5%
9	United Overseas Bank Ltd	定期預金	米ドル	2.5%
10	Nrw Bank	コマーシャル・ペーパー	米ドル	2.4%

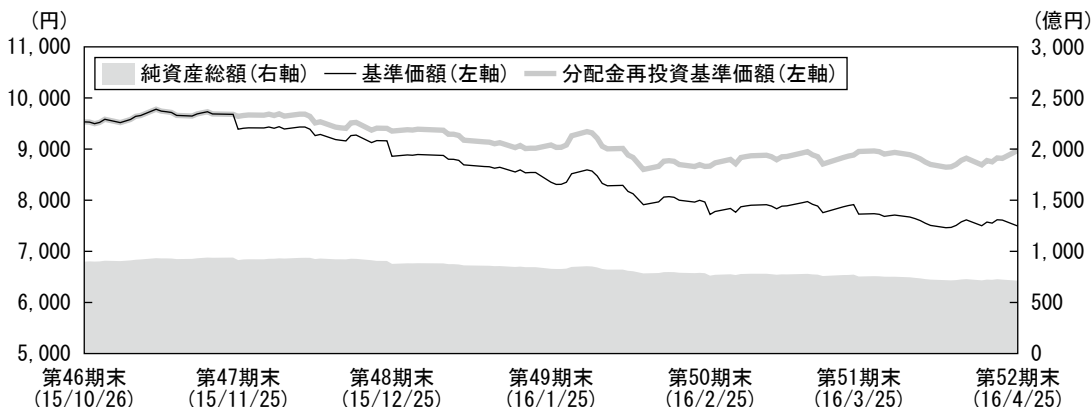
(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2015年10月27日～2016年4月25日）



第47期首：9,531円

第52期末：7,494円

（当作成期中にお支払いした分配金：1,500円）

騰落率：－5.85%（分配金再投資ベース）

（注1）本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません（以下同じ）。

（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の9,531円から2,037円下落し、期末には7,494円となりました。

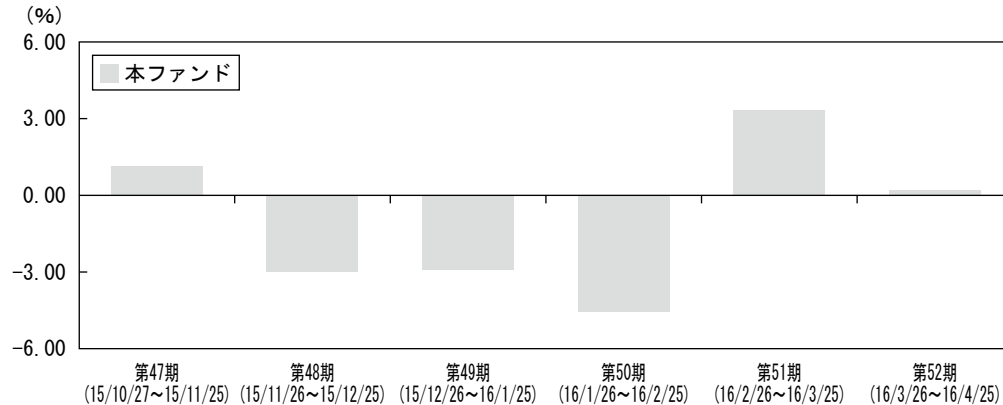
上昇要因

保有しているハイ・イールド債券からのクーポン収入やスプレッド（米国債に対する上乗せ金利）の縮小、米国債の利回り低下（価格は上昇）などが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米ドルが円に対して下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。また、分配金をお支払いしたことも基準価額の下落要因となりました。

■ 当期の基準価額の騰落率



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、-5.85%となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト 米ドルクラス* ¹	-4.72%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド* ²	-7.89%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- * 1 ケイマン籍外国投資信託（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラストーゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト クラス I O
- * 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシーーゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド

1 万口当たりの費用明細

項目	第47期～第52期		項目の概要
	2015年10月27日～2016年4月25日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	80円 (40) (40) (1)	0.929% (0.456) (0.456) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	0 (0) (0) (0)	0.005 (0.000) (0.001) (0.004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	80	0.934	

期中の平均基準価額は8,656円です。

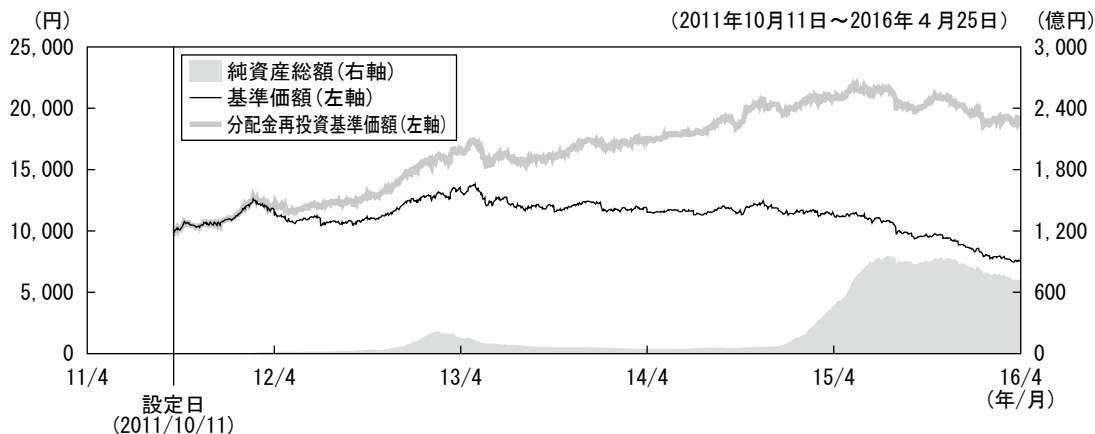
期中の平均基準価額は8,656円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日(2011年10月11日)の基準価額を起点として指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2011/10/11 設定日	2012/4/25 決算日	2013/4/25 決算日	2014/4/25 決算日	2015/4/27 決算日	2016/4/25 決算日
基準価額(分配落) (円)	10,000	11,285	13,210	11,524	11,178	7,494
期間分配金合計(税引前) (円)	—	820	1,900	2,190	2,420	3,000
分配金再投資基準価額騰落率	—	21.11%	37.77%	4.70%	19.58%	−7.26%
純資産総額(百万円)	11	1,487	15,499	4,669	46,922	71,277

■ 投資環境について

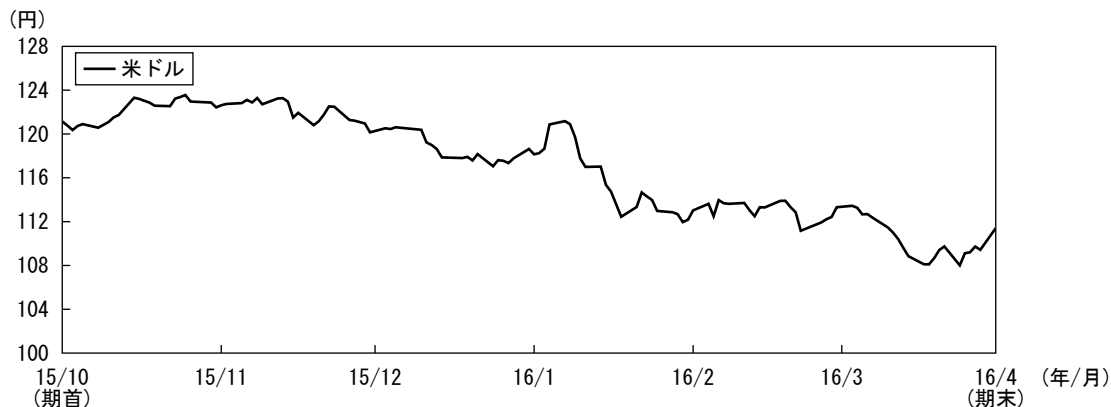
<アジア・ハイ・イールド債券市場>

期初より、原油価格の下落やトルコによるロシア空軍機撃墜などを受けた地政学リスクの高まり、市場を失望させる内容となったＥＣＢ（欧州中央銀行）の追加金融緩和などを背景にスプレッドは拡大しました。年明け以降も原油価格の下落幅拡大や中国経済の先行きに対する懸念などを背景に、スプレッドは拡大傾向が継続しました。しかし、２月中旬以降は、原油価格の反発や中国の預金準備率引き下げ、米国の利上げペースが緩やかになるとの期待などを背景に投資家のリスク選好度が高まり、スプレッドが縮小に転じました。期を通じて見ると、スプレッドは縮小し、期の中盤に投資家のリスク回避姿勢が強まった局面で米国債の需要が高まったことなどから、米国債利回りも低下したため、アジア・ハイ・イールド債券市場は前期末から上昇しました。（米ドルベース）

<為替市場>

為替市場では米ドルに対して円高が進みました。日銀がマイナス金利を導入し円安が進行する局面もあったものの、期の前半は、原油価格の下落などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、期の後半は、米国の利上げペースが緩やかになるとの観測が高まったことなどから、概ね米ドルは円に対して下落傾向が継続しました。

○為替レート（対円）の推移



出所：一般社団法人投資信託協会

<短期金融市場>

当期において、１ヵ月物米ドルＬＩＢＯＲ（ロンドン銀行間取引金利）は前期末の0.19%程度から0.44%程度まで上昇して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて ＜本ファンド＞

本ファンドはゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・F X・サブ・トラスト 米ドルクラスおよびゴールドマン・サックスU S \$ リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・F X・サブ・トラスト 米ドルクラスを高位に組入れることにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

＜ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・F X・サブ・トラスト 米ドルクラス＞

主に日本を除くアジアの企業またはアジア各国の成長により収益が期待される企業により発行された米ドル建て投資適格格付未滿に格付けされた債券に投資することにより、収入（インカム）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなる長期的なトータル・リターンを獲得することを目的として、運用を行いました。

当期の組入れファンドのパフォーマンスは、米ドルベースで上昇しました。個別銘柄では、インドネシアのタイヤメーカー、ガジャ・トゥンガルなどが上昇した一方、インドの鉱山会社バダント・リソーシズなどが下落しました。

＜ゴールドマン・サックスU S \$ リキッド・リザーブズ・ファンド＞

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第47期から第52期は各250円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2015年10月27日 ～2015年11月25日	2015年11月26日 ～2015年12月25日	2015年12月26日 ～2016年1月25日	2016年1月26日 ～2016年2月25日	2016年2月26日 ～2016年3月25日	2016年3月26日 ～2016年4月25日
当期分配金	250	250	250	250	250	250
（対基準価額比率）	2.594	2.745	2.906	3.136	3.134	3.228
当期の収益	225	221	216	199	195	184
当期の収益以外	24	28	33	50	54	65
翌期繰越分配対象額	2,707	2,683	2,651	2,603	2,551	2,488

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。
また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

＜本ファンド＞

今後も引き続きゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・F X・サブ・トラスト米ドルクラスの組入れを高位に保ち、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

＜ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・F X・サブ・トラスト 米ドルクラス＞

アジア・ハイ・イールド市場における企業ファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）は総じて良好との見方に変わりはないものの、アジア地域の経済成長が弱いことや、中国経済の動向に対する懸念などもあり、多くの国で中央銀行は緩和措置を採っているという状況です。しかし、デフォルト（債務不履行）率については、短期的には低位にとどまると見ています。同市場は、発行体企業の財務基盤が強固であることや、当面は償還を迎える銘柄が限られていることなどがデフォルト率上昇の抑制要因になると考えています。引き続き、安定的なキャッシュ・フローを生み出す公益などの景気非循環銘柄を強気に見ている一方、不動産銘柄を弱気に見ています。

＜ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド＞

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

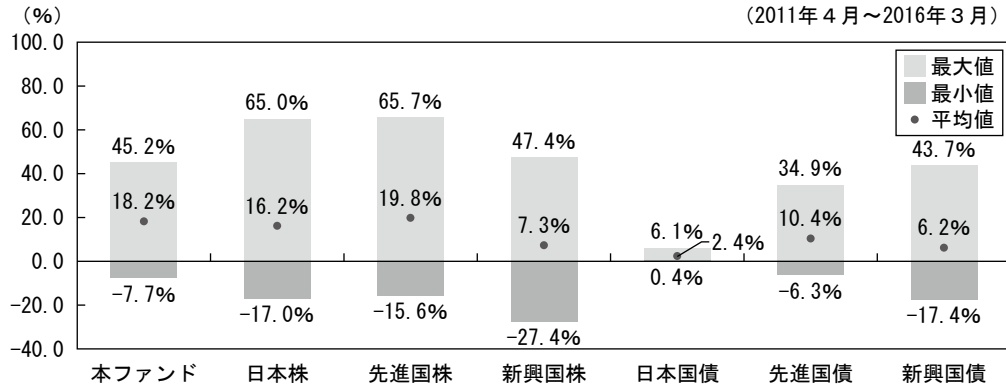
（上記見通しは2016年4月25日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

本ファンドの概要

9 ページをご参照ください。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2011年4月から2016年3月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの1年騰落率は、各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定日（2011年10月11日）から1年後の2012年10月以降のデータを表示しています。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

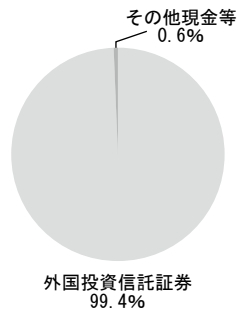
■ 本ファンドの組入資産の内容（2016年4月25日現在）

○組入れファンド

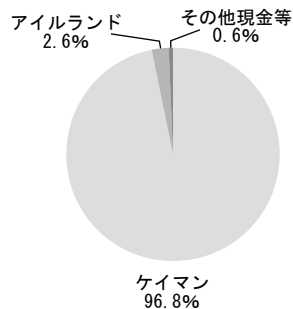
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト 米ドルクラス	96.8%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.6%

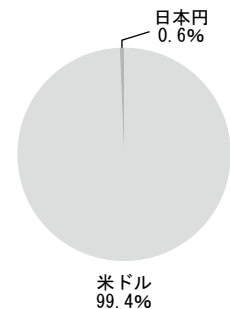
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

項目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
	2015年11月25日	2015年12月25日	2016年1月25日	2016年2月25日	2016年3月25日	2016年4月25日
純資産総額	91,411,966,880円	87,712,023,791円	82,882,000,010円	76,204,486,507円	75,355,332,090円	71,277,232,506円
受益権総口数	97,357,476,235口	99,008,697,972口	99,238,069,749口	98,696,550,417口	97,516,216,981口	95,111,622,610口
1万口当たり基準価額	9,389円	8,859円	8,352円	7,721円	7,727円	7,494円

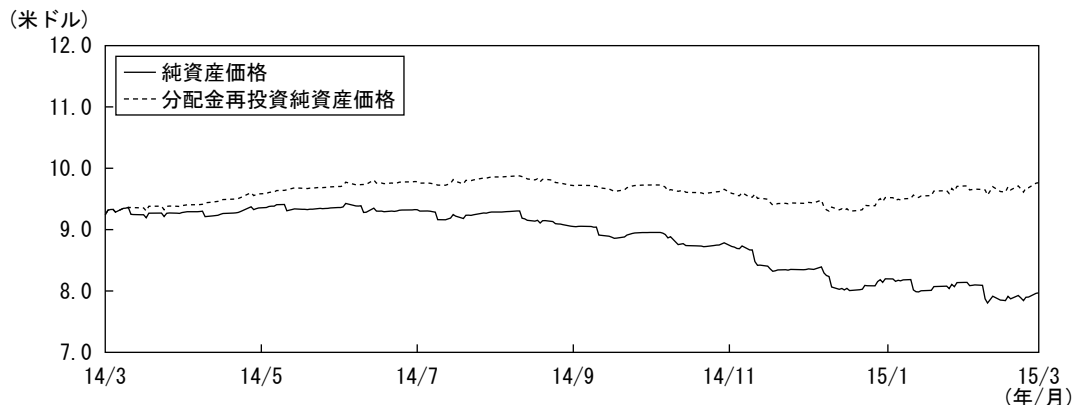
（注）当作成期首元本額は94,332,125,217円、当作成期間（第47期～第52期）中において、追加設定元本額は18,597,012,897円、同解約元本額は17,817,515,504円です。

組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト 米ドルクラス> (2015年3月31日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回(毎年3月末)です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年3月31日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について(2014年4月1日～2015年3月31日)



(注1) 分配金再投資純資産価格は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資純資産価格は、2014年3月31日の純資産価格を起点として指数化しています。

○費用明細(単位: 米ドル)

運用費用	
支払利息	19,548
投資顧問報酬	2,551,350
管理事務代行報酬	21,729
監査報酬	63,187
受託報酬	41,114
保管費用	142,765
名義書換事務代行報酬	19,520
投資主サービス報酬	225,723
弁護士報酬	12,754
雑費	13,658
運用費用合計	<u>3,111,348</u>

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年4月1日から2015年3月31日までのものです。

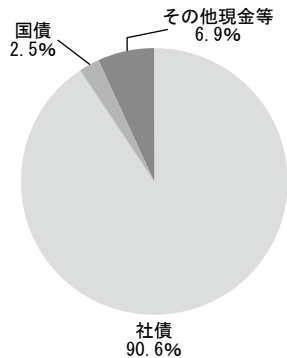
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○債券特性値

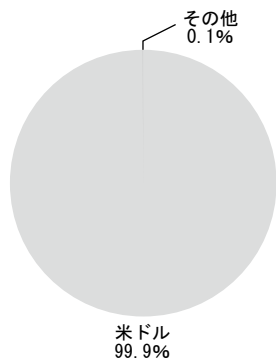
最終利回り : 7.24%

デュレーション : 3.59年

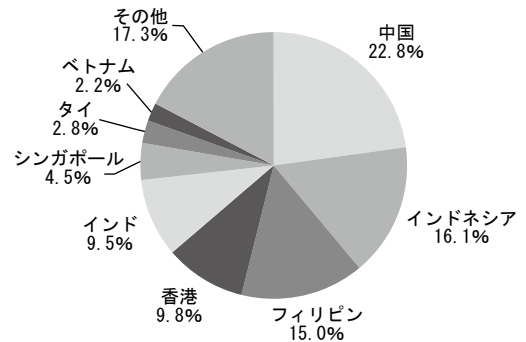
○資産別配分



○通貨別配分



○国別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 112銘柄)

	銘柄	種別	国	比率
1	SAN MIGUEL	社債	フィリピン	3.5%
2	STUDIO CITY FINANCE	社債	香港	2.9%
3	SMC GLOBAL POWER HLDGS	社債	フィリピン	2.9%
4	ROYAL CAPITAL	社債	フィリピン	2.8%
5	CITIC	社債	中国	2.6%
6	TBG GLOBAL PTE	社債	インドネシア	2.5%
7	ENERGY DEVELOPMENT	社債	フィリピン	2.4%
8	SOHO CHINA	社債	中国	2.3%
9	GREENKO DUTCH	社債	インド	2.3%
10	PETRON	社債	フィリピン	2.1%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

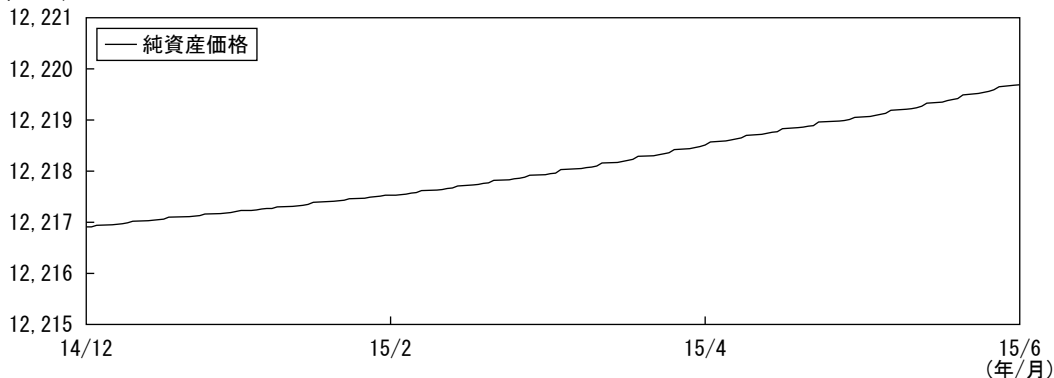
*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2015年6月30日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回（毎年12月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年6月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について（2015年1月1日～2015年6月30日）

(米ドル)



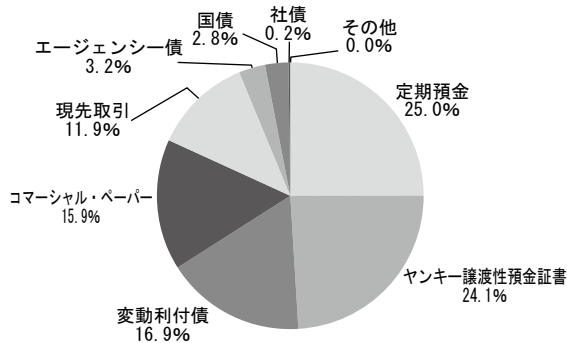
○費用明細（単位：米ドル）

費用	
支払利息	516
投資顧問報酬	26,017,394
管理会社報酬	1,478,778
管理事務代行報酬および保管費用	1,525,974
販売報酬	3,361,630
名義書換事務代行報酬	135,894
監査報酬	7,586
取締役報酬	7,254
弁護士報酬	24,490
保険費用	100,821
印刷費用	10,933
その他費用	157,203
費用合計	32,828,473
投資顧問／販売報酬および諸費用の調整額	(5,836,802)
運用費用合計	26,991,671

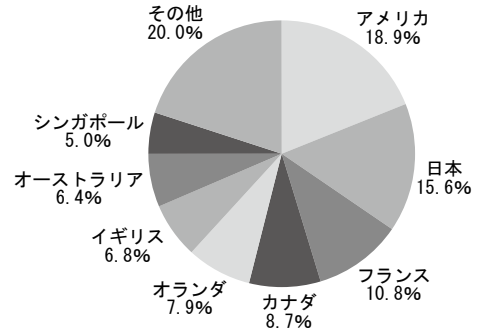
(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2015年1月1日から2015年6月30日までのものです。

(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

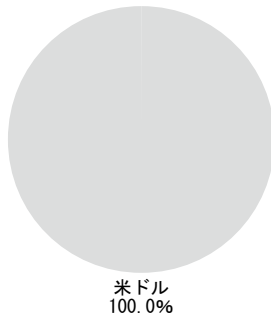
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：108銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	ING Bank NV Repo(e)	現先取引	米ドル	4.4%
2	Societe Generale Plc Repo(e)	現先取引	米ドル	3.9%
3	The Norinchukin Bank	ヤンキー譲渡性預金証書	米ドル	3.4%
4	China Construction Bank Corp	定期預金	米ドル	3.4%
5	Nordea Bank AB	定期預金	米ドル	3.4%
6	Australia and New Zealand Banking Group Ltd	定期預金	米ドル	2.7%
7	Credit Industriel	定期預金	米ドル	2.5%
8	Royal Bank of Canada	定期預金	米ドル	2.5%
9	United Overseas Bank Ltd	定期預金	米ドル	2.5%
10	Nrw Bank	コマーシャル・ペーパー	米ドル	2.4%

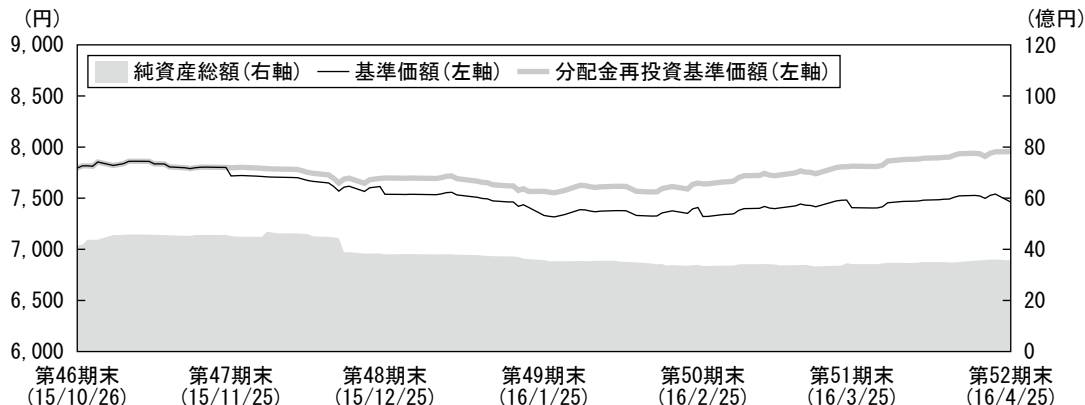
(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

G Sアジア・ハイ・イールド債券ファンド 円コース

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2015年10月27日～2016年4月25日）



第47期首：7,796円

第52期末：7,462円

（当作成期中にお支払いした分配金：480円）

騰落率：+2.04%（分配金再投資ベース）

（注1）本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません（以下同じ）。

（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の7,796円から334円下落し、期末には7,462円となりました。

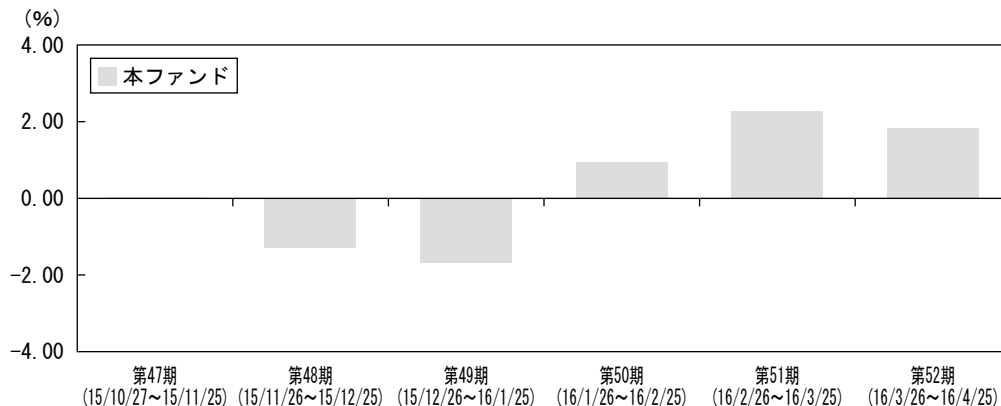
上昇要因

保有しているハイ・イールド債券からのクーポン収入やスプレッド（米国債に対する上乗せ金利）の縮小、米国債の利回り低下（価格は上昇）などが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

分配金をお支払いしたことや円ヘッジの際のヘッジ・コストなどが基準価額の下落要因となりました。

■ 当期の基準価額の騰落率



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+2.04%となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、米ドルベース）

ファンド名	騰落率
ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト 米ドルクラス ^{*1}	3.60%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド ^{*2}	0.15%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- *1 ケイマン籍外国投資信託（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラストーゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト クラスIO
- *2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシーーゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド

1 万口当たりの費用明細

項目	第47期～第52期		項目の概要
	2015年10月27日～2016年4月25日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	70円 (34) (34) (1)	0.929% (0.456) (0.456) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	1 (0) (0) (0)	0.007 (0.000) (0.003) (0.004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	71	0.936	

期中の平均基準価額は7,533円です。

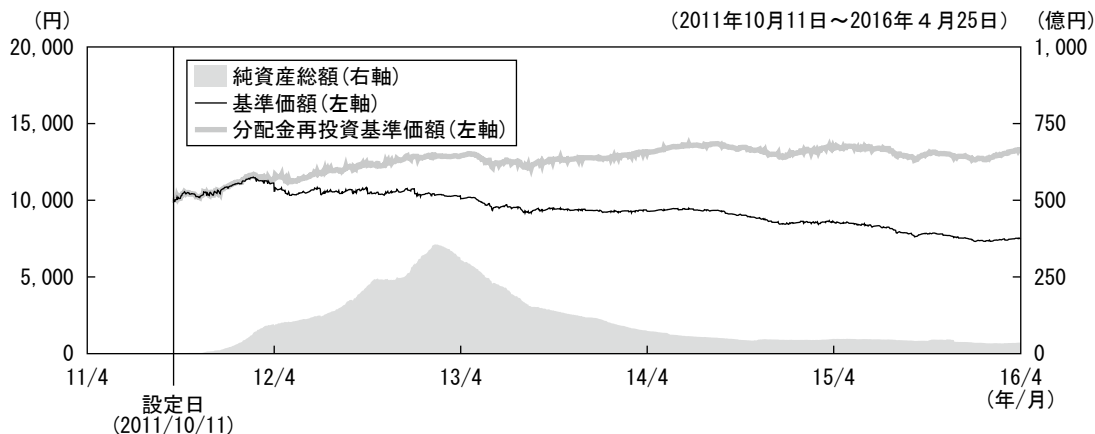
期中の平均基準価額は7,533円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2011年10月11日）の基準価額を起点として指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2011/10/11 設定日	2012/4/25 決算日	2013/4/25 決算日	2014/4/25 決算日	2015/4/27 決算日	2016/4/25 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	10,590	10,096	9,283	8,559	7,462
期間分配金合計（税引前）（円）	—	820	1,790	960	960	960
分配金再投資基準価額騰落率	—	14.13%	13.08%	1.81%	2.66%	－1.40%
純資産総額（百万円）	23	9,213	30,529	7,404	4,800	3,569

■ 投資環境について

<アジア・ハイ・イールド債券市場>

期初より、原油価格の下落やトルコによるロシア空軍機撃墜などを受けた地政学リスクの高まり、市場を失望させる内容となったECB（欧州中央銀行）の追加金融緩和などを背景にスプレッドは拡大しました。年明け以降も原油価格の下落幅拡大や中国経済の先行きに対する懸念などを背景に、スプレッドは拡大傾向が継続しました。しかし、2月中旬以降は、原油価格の反発や中国の預金準備率引き下げ、米国の利上げペースが緩やかになるとの期待などを背景に投資家のリスク選好度が高まり、スプレッドが縮小に転じました。期を通じて見ると、スプレッドは縮小し、期中中盤に投資家のリスク回避姿勢が強まった局面で米国債の需要が高まったことなどから、米国債利回りも低下したため、アジア・ハイ・イールド債券市場は前期末から上昇しました。（米ドルベース）

<短期金融市場>

当期において、1ヵ月物米ドルLIBOR（ロンドン銀行間取引金利）は前期末の0.19%程度から0.44%程度まで上昇して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドはゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト米ドルクラスおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト米ドルクラスを高位に組入れることにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。また、米ドル建て資産に対して原則として対円で為替ヘッジを行いました。

<ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト 米ドルクラス>

主に日本を除くアジアの企業またはアジア各国の成長により収益が期待される企業により発行された米ドル建て投資適格格付未滿に格付けされた債券に投資することにより、収入（インカム）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなる長期的なトータル・リターンを獲得することを目的として、運用を行いました。

当期の組入れファンドのパフォーマンスは、米ドルベースで上昇しました。個別銘柄では、インドネシアのタイヤメーカー、ガジャ・トゥンガルなどが上昇した一方、インドの鉱山会社ベダント・リソーシズなどが下落しました。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第47期から第52期は各80円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2015年10月27日 ～2015年11月25日	2015年11月26日 ～2015年12月25日	2015年12月26日 ～2016年1月25日	2016年1月26日 ～2016年2月25日	2016年2月26日 ～2016年3月25日	2016年3月26日 ～2016年4月25日
当期分配金	80	80	80	80	80	80
（対基準価額比率）	1.026	1.050	1.079	1.081	1.069	1.061
当期の収益	80	80	80	80	80	80
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,266	2,371	2,475	2,574	2,677	2,776

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。
また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

＜本ファンド＞

今後も引き続きゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・F X・サブ・トラスト米ドルクラスの組入れを高位に保ち、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。また、米ドル建て資産に対して原則として対円で為替ヘッジを行います。

＜ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・F X・サブ・トラスト 米ドルクラス＞

アジア・ハイ・イールド市場における企業ファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）は総じて良好との見方に変わりはないものの、アジア地域の経済成長が弱いことや、中国経済の動向に対する懸念などもあり、多くの国で中央銀行は緩和措置を採っているという状況です。しかし、デフォルト（債務不履行）率については、短期的には低位にとどまると見ています。同市場は、発行体企業の財務基盤が強固であることや、当面は償還を迎える銘柄が限られていることなどがデフォルト率上昇の抑制要因になると考えています。引き続き、安定的なキャッシュ・フローを生み出す公益などの景気非循環銘柄を強気に見ている一方、不動産銘柄を弱気に見ています。

＜ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド＞

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

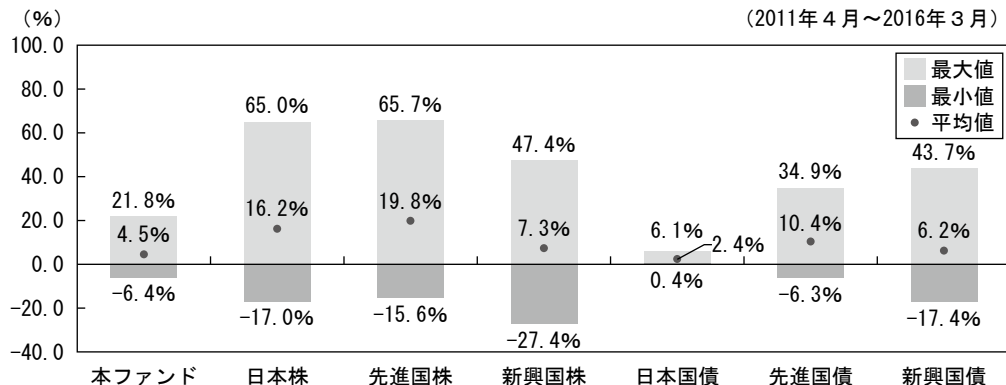
（上記見通しは2016年4月25日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

本ファンドの概要

9 ページをご参照ください。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2011年4月から2016年3月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの1年騰落率は、各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定日（2011年10月11日）から1年後の2012年10月以降のデータを表示しています。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

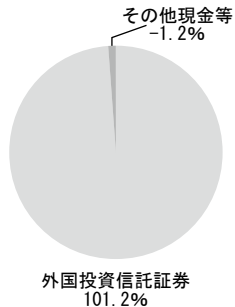
■ 本ファンドの組入資産の内容（2016年4月25日現在）

○組入れファンド

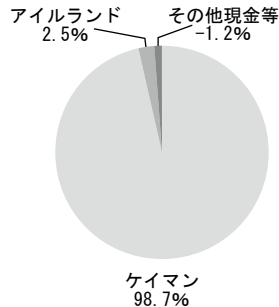
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト 米ドルクラス	98.7%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.5%

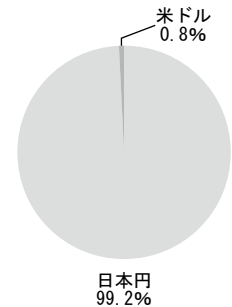
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

項目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
	2015年11月25日	2015年12月25日	2016年1月25日	2016年2月25日	2016年3月25日	2016年4月25日
純資産総額	4,521,228,251円	3,801,394,069円	3,576,309,087円	3,343,537,396円	3,422,318,343円	3,569,934,481円
受益権総口数	5,857,970,965口	5,043,090,211口	4,878,021,358口	4,566,820,835口	4,620,477,392口	4,783,967,105口
1万口当たり基準価額	7,718円	7,538円	7,331円	7,321円	7,407円	7,462円

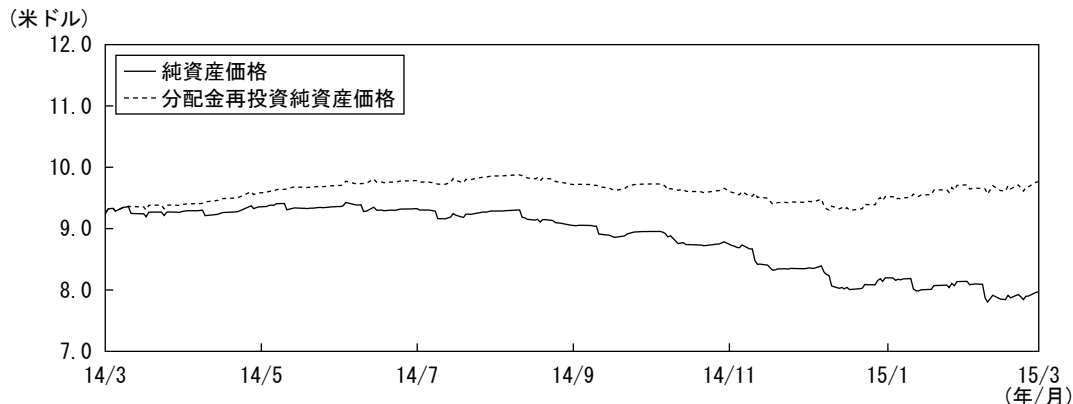
（注）当作成期首元本額は5,332,059,559円、当作成期間（第47期～第52期）中において、追加設定元本額は1,561,893,744円、同解約元本額は2,109,986,198円です。

■ 組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・FX・サブ・トラスト 米ドルクラス> (2015年3月31日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回(毎年3月末)です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年3月31日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について(2014年4月1日～2015年3月31日)



(注1) 分配金再投資純資産価格は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資純資産価格は、2014年3月31日の純資産価格を起点として指数化しています。

○費用明細(単位: 米ドル)

運用費用	
支払利息	19,548
投資顧問報酬	2,551,350
管理事務代行報酬	21,729
監査報酬	63,187
受託報酬	41,114
保管費用	142,765
名義書換事務代行報酬	19,520
投資主サービス報酬	225,723
弁護士報酬	12,754
雑費	13,658
運用費用合計	<u>3,111,348</u>

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年4月1日から2015年3月31日までのものです。

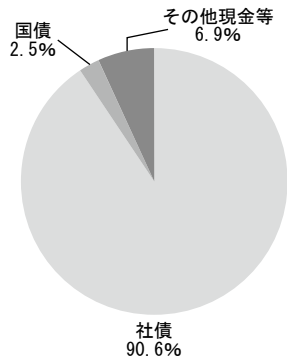
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○債券特性値

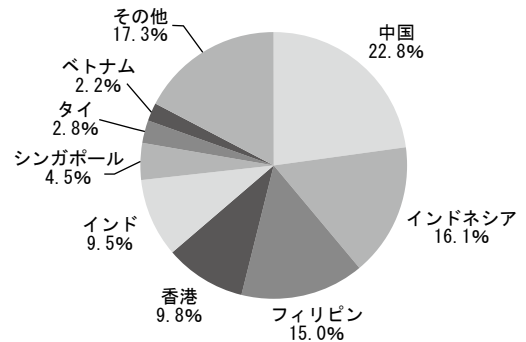
最終利回り : 7.24%

デュレーション : 3.59年

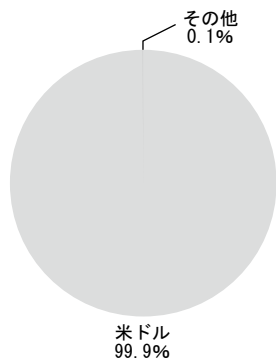
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 112銘柄)

	銘柄	種別	国	比率
1	SAN MIGUEL	社債	フィリピン	3.5%
2	STUDIO CITY FINANCE	社債	香港	2.9%
3	SMC GLOBAL POWER HLDGS	社債	フィリピン	2.9%
4	ROYAL CAPITAL	社債	フィリピン	2.8%
5	CITIC	社債	中国	2.6%
6	TBG GLOBAL PTE	社債	インドネシア	2.5%
7	ENERGY DEVELOPMENT	社債	フィリピン	2.4%
8	SOHO CHINA	社債	中国	2.3%
9	GREENKO DUTCH	社債	インド	2.3%
10	PETRON	社債	フィリピン	2.1%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

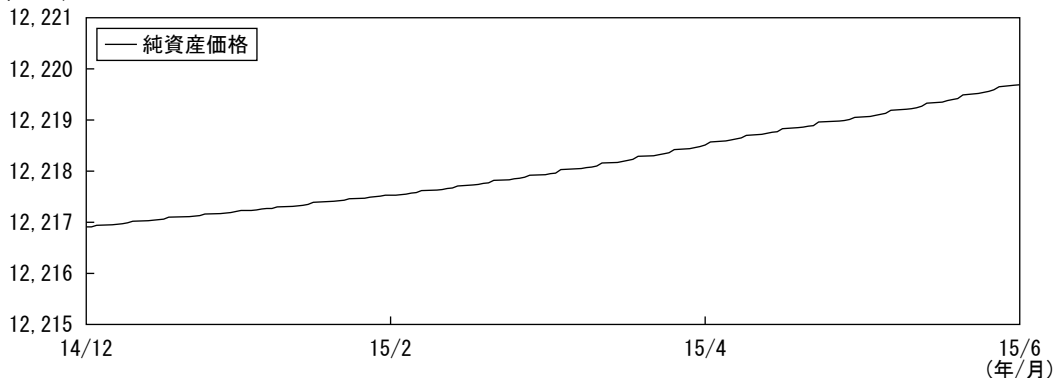
*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2015年6月30日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回（毎年12月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年6月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について（2015年1月1日～2015年6月30日）

(米ドル)



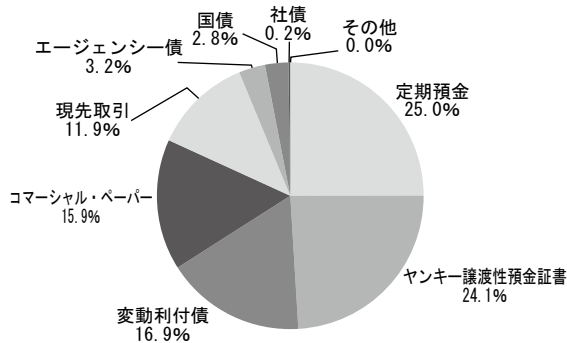
○費用明細（単位：米ドル）

費用	
支払利息	516
投資顧問報酬	26,017,394
管理会社報酬	1,478,778
管理事務代行報酬および保管費用	1,525,974
販売報酬	3,361,630
名義書換事務代行報酬	135,894
監査報酬	7,586
取締役報酬	7,254
弁護士報酬	24,490
保険費用	100,821
印刷費用	10,933
その他費用	157,203
費用合計	32,828,473
投資顧問／販売報酬および諸費用の調整額	(5,836,802)
運用費用合計	26,991,671

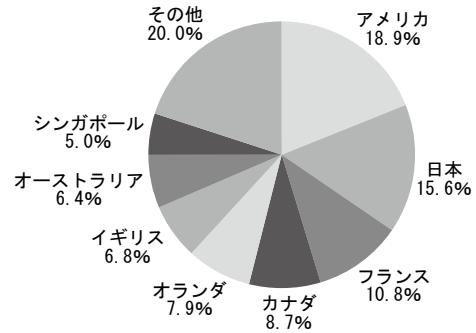
(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2015年1月1日から2015年6月30日までのものです。

(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

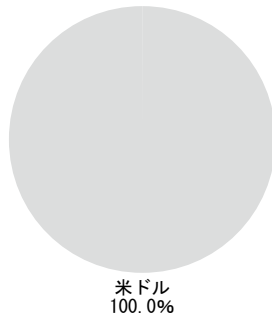
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：108銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	ING Bank NV Repo(e)	現先取引	米ドル	4.4%
2	Societe Generale Plc Repo(e)	現先取引	米ドル	3.9%
3	The Norinchukin Bank	ヤンキー譲渡性預金証書	米ドル	3.4%
4	China Construction Bank Corp	定期預金	米ドル	3.4%
5	Nordea Bank AB	定期預金	米ドル	3.4%
6	Australia and New Zealand Banking Group Ltd	定期預金	米ドル	2.7%
7	Credit Industriel	定期預金	米ドル	2.5%
8	Royal Bank of Canada	定期預金	米ドル	2.5%
9	United Overseas Bank Ltd	定期預金	米ドル	2.5%
10	Nrw Bank	コマーシャル・ペーパー	米ドル	2.4%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。